

#04

イラストレーター

## 活躍できる場所はいろいろある



今回のゲストはイラストレーターの<sup>かなんよしみ</sup>河南好美さんです。河南さんは専門学校を卒業後、デザイン会社での仕事の一環としてイラストを描くようになり、やがてイラストレーターとして独立しました。依頼の内容に合わせてさまざまなテイストで描き分ける商業系のイラストレーターとして、依頼者と密にコミュニケーションを取り、期待以上のものを描こうと努力しているそうです。今回はそんな河南さんに、仕事への取り組み方や、仕事をする上で大切にしている思いなどを伺います。



MC・リポーター  
米野真織

### イラストレーターとは

ほとんどの場合、クライアントからの依頼を受けてイラストを描きます。掲載先は、ポスターや商品パッケージ雑誌などの紙媒体、ウェブサイト、ゲームなど多岐にわたります。また、描くイラストのタイプも人によってさまざまで、芸術作品としてイラストを描くアート系のイラストレーターもいれば、医療や工業製品など、専門分野に特化したイラストレーターもいます。

### イラストレーターになるには

決まったルートや特に必要な資格はありません。美術系の大学や専門学校を出てイラストレーターになる人もいますし、河南さんのように、関連分野の会社に勤めて実績を積んだ後、フリーになる人も多いです。今はデータで納品することが一般的なので、パソコンのソフトを使いこなす技術は必要です。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。



## イラストレー・河南好美さんに聞きました！

**米野**：河南さんのお住まいはどちらなんですか？

**河南**：兵庫県の西宮市っていう、甲子園球場がある街です。

**米野**：一度見に行ってみたいです、甲子園。

**河南**：ぜひ！

**米野**：河南さんのイラストを見させていただいたんですけど、おもしろかわいいものからキレイ系まで、ほんとにいろんなテイストのイラストをお描きになられるんですね。

**河南**：そうなんです。私はいわゆる商業系といって、その中でも職人みたいなイラストレーターなので、お客さんから依頼を受けて、ご要望にお応えして、いろんなタッチで描き分けるのが得意です。

**米野**：職人系と…ほかにはどんなタイプがあるんですか？

**河南**：ジャンルはほんとにいろいろあって、自分の世界観や芸術性を売るアート系だったり、ゲームだったり、あとは文具なんかのキャラクター商品の絵を描くファンシー系。企業にお勤めの方もいらっしゃるし、ほんとにそれぞれ、いろいろあります。

**米野**：確かにいろいろなところに、いろいろなテイストのイラストが街中あふれてますよね。

**河南**：うん、そうですね。

**米野**：絵が好きで高校生の中には、イラストレーターに興味がある方も結構多いんじゃないかなと思います。なので、今回は河南さんがどうしてイラストレーターになったのか、今どんなふうにお仕事をしているのかなど、いろいろ伺わせていただきたいです。どうぞよろしくお願いします。

**河南**：こちらこそ、よろしくお願いします。

### デザイナーからイラストレーターへ

**米野**：河南さんは、やっぱり、子どものころから絵を描くのは得意だったんですか？

**河南**：うん、あの、好きは好きで。友達への手紙とかの、端っこにちょこっと絵を描いたりはしていたりとか、工作とかは好きで……漫画雑誌とかの付録についているようなものを、工夫してグレードアップしたりとか、なんか、そういうことは好きでしたね。「サイズを拡大してやろう」とか「これのもっとでかい版作ったる」とか、「逆にめっちゃちっちゃいの作ったる」とかそんなことしていましたね。

**米野**：じゃあ、子どものころからイラストレーターを目指していたんですか？

**河南**：いや、それが、そんなことは考えてなくて。そうやってものを作ったりするのが好きだったので、テレビとか舞台の大道具さん……トンテンカンテンしてるイメージだったので、「できたらおもしろそやな」っていうふうには思っていました。

**米野**：そこからどうやってイラストレーターの道に入られたんですか？

**河南**：高校生のころに、スーパーの中にある喫茶店でアルバイトをして、そのスーパーの売り

場にあるポップ (POP広告) ……ポップっていうのは、値段とか、おすすめの「今日安い！」とかが目立つように書いてある紙みたいものをポップっていうんですけど……それを書くのが楽しそうやなっていう話をお店でして。で、そうしたらそのコックさんが「デザインの専門学校っていうのがあるで」って。「そんなん好きだったらそこ行ったらええんちゃう？」っていうふうに言ってくれはって……

米野：へえ。

河南：で、高校の美術の先生に相談したんです。で、大阪の専門学校に2人で電車に乗って見学に行ってくださいました。

米野：優しい先生！

河南：そうなんです。その学校はイラストレーターのコースも実はあったんですけど、自分はデザインコースに入学しました。

米野：あっ、そうなんですか？

河南：そうなんです。なんか、仕事にするってなると、イラストレーターは無理っていうか、自分には関係ないものって、そのときは思ったんですよ。

米野：卒業後はどうされたんですか？

河南：大阪のデザイン事務所に就職して、そこでは広告や、カタログなんかのレイアウトするデザインの仕事をしています。

米野：そのときは、イラストはまだ描いてなかったんですか？

河南：まだ描いてなくて。で、ちょうどその会社でもパソコンが導入されたばかりのときにグラフを立体的に描いたりとか、ビルの形を描いたりとか、複雑な図形とかを描くような機会はあったので、そのソフトの使い方にはかなりそれで慣れました。

米野：その技術はイラストレーターになってからも使えていますか？

河南：めちゃくちゃ使っているんですよ。その同じソフトを使って今も絵を描いているので、結構、初めて触る人はなかなか厳しいんですけど、おかげでそこは楽しらせてもらいました。

米野：それからどうやってイラストレーターになられたんですか？

河南：デザイン会社には、13年間ぐらいで3社経験したんですけど、その間に外部のイラストレーターさんに発注して。でも、時間がなかったりとかしてそんなん言ってもらえないようなときに、見よう見まねで描き始めたっていう感じで、だんだん、それでちょっとずつは上達してたのかな。指名してくださる方も増えてきてっていう。でも、会社でイラストを描くと著作権……イラストを所有する権利、自由に使う権利は会社のものになってしまうんですね。で、それだったら、「これだけのお金があれば、ま、暮らしていけるな」っていうぐらいのところで、開業届というものを提出して、イラストレーターとして独立しました。なんか、そういうときって、たまにはね、思いきりも必要なときもあるんじゃないかなっていう。

相手の要望をかなえつつ、プラスアルファも！

**米野**：河南さんのように、デザイン会社に勤務してからイラストレーターになる方もいらっしゃるんですか？

**河南**：わりといらっしゃると思います。でも、関係ない仕事から「イラストが好きだから」ってなる人とか、美術系の学校を出ていきなり独り立ちする方もいらっしゃいます。デザイナーを経験してるメリットとしては、イラストを必要としてる会社さんとか人に、すでにある程度出会ってる。で、印刷の知識とか、お金の流れなんかも分かっている。

**米野**：うーん……河南さんは最初にデザイン会社などに入ることをおすすめしますか？

**河南**：いや、それは一概には言えなくて……私の友達にもいろんなパターンで同業者でやってくれる方がいっぱいいるんですけど、どの方もそれぞれすごい、いい個性を持って活躍されているので……決して「このやり方がいい」という決まったものは何もないです。

**米野**：河南さんはどういうイラストを描くことを目指していらっしゃいますか？

**河南**：相手が何を求めているか、しっかり聞いたり想像したりするんですけど、自分が（イラストを発注する側の）デザイナーだったからっていうのもあって、イラストに何を求めてらっしゃるかっていうのが、想像つきやすいんですよ。紙面にレイアウトしやすいイラスト……デザイナーさんが「この紙面どうやってデザインしようかな？」っていうときに、例えば、そこに置きやすい形だったり、調和する色だったり、そういうお客様の要望をかなえつつ、期待されたものにプラスアルファのものを出せたらいいなって思ってます。「えー、こんないい感じにしてくれたんや！」っていう驚きみたいな。

**米野**：実際、「プラスアルファできたかな」と思うものはありますか？

**河南**：例えば、おもしろエピソードに挿絵を付けるようなときだったら、コミカルなイラストだけじゃなくて、指示にはなかったんだけど、勝手にギャグ、おもしろいセリフを足して、言わしたりとかして。そしたら、それがウケて、「あ、これおもしろかった！」って言って採用してくださったりとか。そもそも、どんな絵なら目を引くか、読む気になるかっていうのを考えて描いたりしています。

心がけていることは「誠実にやること」

**米野**：仕事をするうえで心がけていることはありますか？

**河南**：もう、それはただ一つ、「誠実にやること」というのだけで。お客さんはみんな、信用できる人、信頼できる人を探していらっしゃるんですよ。当たり前のことですけど、「きちんと締め切りを守る」であったり「いい加減なことはしない」とか、「相手のこと思いやる」そういったことです。

**米野**：なるほど。お仕事の依頼者の方とはどんな関係を目指していますか？

**河南**：そうですね、単なる下請けというのではなくて、一緒にいいものを作るパートナーとして対等に見ただけでると今も実際感じています。それが最高ですね。

**米野**：例えば、どういうときに「対等だな」というふうに感じますか？

**河南**：例えば、「ここにイラストが欲しいって思うんだけども、どんなイラストがいいだろう？」とか、「どういうふうにすれば、ここ盛り上げたり、紙面を飾ることができるか？」っていうことを相談していただけることがあるんですね。いろんな役割、ライターさんだったり、ディレクターさん、デザイナーさん、編集さんっていう、いろんな方が一つの作品にはかかわっています。それぞれの役割を担って、で、みんなで作って、みんな「できたね」って言って、それがまた「こんな反応があったね」って喜んだり、「このイラストすごくよかったよ」ってほめてもらえたときは、もう、言葉にならないぐらいうれしいです。

**米野**：仕事をされていて大変なこと、教えていただけますか？

**河南**：スケジュールが重なって徹夜するようなこともあるので、そういった体力面がちょっと大変かな……。

**米野**：これはこの日、これはこの日って、重なったり、すごく大変ですよ。

**河南**：そうですね。なんか、これが売れっ子だったら「もうそんなんでできないんで〜」とか言えると思うんですけど、「いや、もう、やらさせていただきます。ありがとうございます」みたいな感じで。(笑)

**米野**：つい欲張っちゃう。

**河南**：そうそうそうそう。「もう、どの仕事も断りたくない。もう、全部私の仕事や」みたいな。(笑)

**米野**：分かります！

**河南**：どっちかって言ったら、ま、「大変が8、楽しいが2」です。(笑)

#### うれしいのは子どものためになる仕事

**米野**：河南さんは、イラストレーターとしてどんな方向を目指していますか？

**河南**：バーンと名前が出る売れっ子イラストレーターになればもちろん素晴らしいんですけど、それが私が目指すゴールというわけもなく、人に必要とされて、うれしい仕事が増えたらいいなと思っています。

**米野**：うれしい仕事というのはどういう仕事ですか？

**河南**：いろいろあるんですけど、一つは子どものためになる仕事。子どもの役に立ったり、子どもが喜んだり、その中でも、自分が女性だし、(私には)子どもがいるんですけど、その子ども女の子なので、女の子を応援したいっていう気持ちが強くあって。で、もちろん女の子だけでなく、ジェンダーの問題自体にも関心があって。例えば、バイアスがかかったようなご要望いただいたときには、「これ、ちょっと変えませんか？」とか変更を提案したりしています。例えば、職業的なイラストだったりすると博士とかお医者さんは男性。で、お花屋さんとかケーキ屋さんは女性として描くような指示だったら、そういう決めつけはしたくないし、間違ったメッセージになるんじゃないかな、と思うので。社会全体で考えたら、あたしが絵を描くっていうことは小さなことではあるんですけど、自分にできることをやっていきたいなと思っています。

**米野**：最近印象に残っているお仕事はありますか？

**河南**：先日、中学生以上向けの漢和辞典の故事成語を解説するイラストを描きました。で、出来上がった辞書を手に取って、「えー！ 自分の絵と名前が辞書に、辞典に載っている」っていうのが、もう、うれしくて。辞典っていったら、私ももちろんお世話になったし、誰もが使うようなものじゃないですか。この絵が全国の子どもたちの勉強の理解の助けになるのかもしれないということで、「子どものためになる仕事っていうのがこんなにうれしーんや」というふうに思いました。

イラストレーターに必要な、意外なものとは!?

**米野**：河南さんは、イラストレーターに必要な能力、または、適性って何だと思いますか？

**河南**：よく言われることではあるんですけど、コミュニケーション能力。

**米野**：意外。

**河南**：対話して、必要な情報、相手の頭にあるイメージをつかみ取ることであったり、相手を思いやったり、失礼のない態度とか、そういったことです。

**米野**：相手の頭の中にあるものを推しはかれなかったこともありますか？

**河南**：もちろんあります。せっかく「こうやろな」とか言って調子乗って考えたやつ、「こうでしょう」みたいな感じで自信満々で出しても、「いや、なんか、すいません。ちょっと、こういうことじゃなくて」みたいな。(笑)「あー、恥ずかしい」っていうことは、まれに(笑)。その、(イラストの発注に)慣れてらっしゃらない方とかだと、「なんかここに人がいて、なんか楽しそうなイラスト描いてください」みたいな。「うーん、なんか、一回描いてみます」って描いて、「あ、いや、なんか、こんなじゃないなくて、もっと、こう、3人ぐらい欲しかったんですけど」とか(笑)。そういうことがあります。

**米野**：密にコミュニケーションをとることが大事なんですね。

**河南**：そうですね。やっぱり、慣れてきたと思っておろそかにしたらいかんところですね。

**米野**：絵を描く能力が一番かと思っていたので意外でした。

**河南**：もちろん、当然ある程度は必要なんですけど、でも、すごく上手でもお仕事に結びつかない人もいれば、画力としてはそこまでではないけど売れっ子の方もいらっしゃいます。



リモート収録時の米野さん(左)と河南さん(右)。  
イラスト：河南好美さん

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

米野：売れる、売れないの差ってどこで生まれると思いますか？

河南：もう、どこなんでしょうね。私も聞きたいぐらいなんですけど（笑）。うん、なんか、アイデアだったり、対応力とか人間性だったり、営業力だったり、画力以外でも勝負できる部分というのはあるんじゃないかなと思います。

米野：では、イラストレーターになりたいという高校生のメッセージをお願いします。

河南：はい。「絵を描くのが好きだけど自信はない」っていうような人がもし、いるとしたら、有名なイラストレーターさんとかを思い浮かべて「自分には無理」って思うのは早いかもしれない。イラストレーターの活躍場所とか、座るイスって言うんですかね、それはいろいろあって、派手な目立つイスだけじゃなく、「自分はこのなとも座れるんちゃうか？」とか、「もう無いんやったら自分で座布団持ってきて、この隙間んとこ座っちゃえ」とか、そしたら「案外座り心地ええやん、自分に合ってるやん」っていうこともあると思います。自由です。

米野：すごい！

河南：ホンマですか？

米野：座布団おきに行きます。

河南：そう。もう無理無理おいてください。



★身の周りにあるさまざまなイラストのなかで、「いいな」と思ったものはありますか？

.....  
.....  
.....

★あなたがイラストレーターに仕事を頼むとしたら、どんな人に頼みたいですか？

.....  
.....  
.....

★ずば抜けた才能がなくても活躍できる人は、どんな人だと思いますか？

.....  
.....  
.....

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。